

メール 「一人ひとりを大切に、違いは宝物」 元気で笑顔あふれる学校

にしおか

NO.14

豊中市立西丘小学校「学校だより」 令和2年（2020年）10月16日発行

「メールにしおか」のカラー版は、ホームページをご覧ください。http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nisioka/

家庭科のお手伝いに来てもらいました。

今年は家庭科や音楽、図工、体育と言った教科は、新型コロナウイルスの影響で計画通り教材を進めることができません。それでも5年生になると家庭科が始まります。初めての家庭科は一学期に裁縫の基本を勉強し、今「ナップザック」作りをしています。初めにチャコペンシルで印をつけて、しつけをかけてからのミシン縫いです。まずしつけをするときは、慣れない手つきで、待針に刺さって「あっ痛い!」「針に糸がなかなか通らない」「玉結び」「玉止め」が難しい。それでも誰もあきらめ



ることなく、ゆっくりゆっくりとしつけをかけていきます。その後初めてのミシンに挑戦。みんな真剣で見ているこちらの息がとまりそうです。5年生の家庭科のサポートに2週間でのべ21人のお母さんたちに来ていただきました。



さすがお母さんたち、困っている子どもの傍にそっと寄り添い優しく教えてくれます。今年はなかなか授業支援もお願いするのが難しい状況が続いていましたが、こうして少



しずつ地域の方や保護者の方に学校に足を運んでいただき、サポートしてもらえるととても助かります。お忙しい中ありがとうございました。

出来上がった「自分のナップザック」を持って、5年生は30日（金）わっばるへ体験活動に出かけます。

◎教育実習生

個人情報保護のため個人名を割愛しています。

11月2日（月）～13日（金）

6年4組で教育実習を行います。
9月末からスクールサポーターとして本校で活動してもらっています。

◎AETの先生

すでに6月から 個人情報保護のため個人名を割愛しています。 が毎週火曜日に本校にきてくれて、3～6年の外国語の授業に入ってもらっています。
2月まで担任といっしょに授業を行います。



あいさつで
あいてより
いつも
さきに やさしいきもちを
つたえよう



にしおかしょうがっこうの子



にこにこ えがおが あふれる 子
しっかり まなび かんがえる 子
おもいやりが あり やさしい 子
からだと ころを きたえる 子

マスク着用
にご協力を
お願いします



検温
にご協力を
お願いします



※毎日の健康観察と連絡のお願い

今の時期は気温差が大きく、体調を崩す子どもが増えています。大半が季節の変わり目による風邪だと思いますが、学校では発熱や風邪症状のある子は別室で対応し、保護者にお迎えをお願いしています。

ご家庭において登校時、本人や同居者に発熱、風邪症状がみられる場合は登校させずに、おうちで様子を見てください。欠席ではなく、出席停止扱いになります。朝の健康観察も引き続きよろしくお願いいたします。

また、今は保健所を通さなくても医療機関で直接PCRの検査が受けられるようになっていきます。もし、本人または同居者が検査を受けられた時はすぐに学校へ連絡してください。また、結果もわかり次第お知らせください。（症状がでる2日前からが対象となるため、場合によってはすぐに濃厚接触者を特定しなければならないことがあります。）



冬休み・春休みの日程のお知らせ

教育委員会より、今年度冬休みと春休みの日程について、連絡がありました。

2学期終業式 令和2年（2020年）12月24日（木）
冬休み 令和2年（2020年）12月25日（金）～令和3年（2021年）1月7日（木）
3学期始業式 令和3年（2021年）1月8日（金）
3学期終業式 令和3年（2021年）3月24日（水）
春休み 令和3年（2021年）3月25日（木）～令和3年（2021年）4月7日（木）

※卒業式・入学式の日程は未定です。決定次第おしらせします。



全国学力・学習状況調査の結果概要②

全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査の結果概要から、今年度の児童の様子をお知らせいたします。

結果の概要（２）児童質問紙に関する調査より

- 「国語・算数・英語の勉強は好きですか」では、どの教科においても7割以上が肯定的です。「授業の内容はよく分かる」等の学習状況も良好です。特に積極的に身につけたことを使っていこうとする「学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えている」「英語で自分の考えや気持ちを伝え合うことができている」項目も8割以上でした。
- 「ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」「人が困っている時は、進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」は9割以上の高い結果でした。
- 「朝食を毎日食べている」「毎日同じぐらいの時刻に寝ている・起きている」「家の人と学校での出来事について話す」児童の割合は安定して高いです。
- 「自分によいところがある」「将来の夢や目標を持っている」が約8割と児童が自己肯定感を持っていること、「先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか」についても高い状況にあります。
- ▲「今住んでいる地域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える」積極的な地域との交流に課題が見られます。
- ▲「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用したか」については週一回以上が3割と少ない結果でした。大型モニターを使った授業は普段から行っていますが、一人一台タブレットを活用した授業法をこれから研究していく必要があります。
- ▲「自分の考えを発表する機会では、自分の考えが上手く伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」「調べたことや考えたことを800字ぐらいでまとめたことがある」は主体的に話す・聞く・話し合いで深める活動に比べて、低い結果になっています。



【まとめ】

- 今後も学校生活、学習活動、学校行事等全体の取り組みを通して、児童の自尊感情を豊かに育み、お互いの違いを認め合い、高め合う人間関係づくりや学級集団作りの取り組みを引き続き大切にしていこう。
- 子どもたちが、安心できる環境の中で、自信を持ち、自己有用感を実感させていけるよう、学校、地域、家庭で連携、協働し実現させていくことが重要である。
- 主体的で対話的な深い学びを実践するために、本校の研究テーマでもある「夢や希望に向かって、心豊かにたくましく生きる子どもの育成～しっかり聴いて、深く考え、思いを表現する子ども～」をめざして、「自ら見通しを持ち、子どもたちどうしがつながりの中で、共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に！」授業改善に取り組んでいく。